

## 平成28年度 「エコシティたかつ」 推進フォーラムについて

## 1. 日 時

平成28年12月4日（日） 13時30分～16時15分

## 2. 場 所

高津区役所 市民ホール（第1部）、5階第1会議室（第2部）

## 3. 来場者数

約190名

## 4. プログラム

## (1) 第1部：学校ビオトープ交流会

①区内小学校の児童によるビオトープを活用した学習発表

【発表校】 梶ヶ谷小学校（3年生、13名）、子母口小学校（5年生、9名）、  
下作延小学校（3年生、13名）、橘小学校（3年生、15名）

②表彰式

## (2) 第2部：講演

テーマ：豪雨災害から身を守る流域思考

講 師：岸 由二 氏

## 5. 展示

梶ヶ谷小学校、子母口小学校、「エコシティたかつ」パネル



【第1部】 梶ヶ谷小学校による発表



【第1部】 子母口小学校による発表



【第1部】 下作延小学校による発表



【第1部】 橘小学校による発表



【第1部】会場の様子



【第2部】岸先生によるご講演

## 6. 「エコシティたかつ」推進フォーラムアンケート結果

□日時 12月4日 13:30~16:15

□会場 高津区役所市民ホール、第1会議室

□参加者 約190人 アンケート回答 84人

### 1 年代

年代	人数
20歳未満	18
20代	4
30代	6
40代	33
50代	5
60代以上	13
無回答	5
合計	84

### 2 性別

性別	人数
男性	33
女性	46
無回答	5
合計	84

### 3 お住まい

住まい	人数
高津区内	57
川崎市内	16
川崎市外	7
無回答	4
合計	84

4 このフォーラムを何で知りましたか？

媒体	人数
市・区ホームページ	2
チラシ	22
知人の紹介	8
その他	44
無回答	8
合 計	84

5 どの様なお立場で参加されましたか？

立場	人数
発表者のご家族	43
学校関係者	10
一般	9
行政	3
その他	15
無回答	4
合 計	84

6 「エコシティたかつ」の取組について理解が深まりましたか

理解	人数
非常に深まった	17
深まった	51
どちらともいえない	5
あまり深まらなかった	2
全く深まらなかった	0
無回答	9
合 計	84

7 フォーラムの内容はいかがでしたか

【第1部 学校ビオトープ交流会】

交流会	人数
良かった	67
どちらともいえない	6
良くなかった	0
無回答	11
合 計	84

【第2部 講演：ゲリラ豪雨から身を守る流域思考】

講演	人数
良かった	17
どちらともいえない	0
良くなかった	0
無回答	67
合 計	84

## 8 フォーラムの内容について意見・感想

### 【第1部 学校ビオトープ交流会】

- 皆さんの発表が堂々と大きな声ですばらしかったです！！きちんと調べて練習した証ですね。
- 同じ高津区内の学校のビオトープでもそれぞれの地形や方針により違いがあるのが良く分かりました。
- ビオトープという言葉になじみすらなかったが、このような発表の場で聞くことにより、少し身近に感じられるようになりました。
- 子どもの発表を通じてビオトープのことや区のエコ活動を知るきっかけが出来てよかったです。
- 学校ごとに特徴があって面白かったです。勉強になりました。引き続きこのような取組をしていって欲しいと思いました。
- 見て聞いて触って相談して考えて練習して発表して・・・という一連の体験はとてもよい経験になったと思います。
- 参加することにより今まで興味なかったエコへの関心が高まりよかったです。親子でエコの教室にも参加したり、楽しみながら学ぶことができました。
- 各学校の取組、そして子どもたちが自然に目を向けていることやビオトープ学習をすることで自然に親しみ、自然を大切にしていこうの姿を知ることができました。子母口小さんの発表は高学年らしく学校ビオトープを大切にしていきたい姿勢がよく伝わってきました。ありがとうございました。
- ビオトープの交流会について、各学校が工夫して発表していてよかったです。いろいろな生きものの生態を一年通じて学習するビオトープに子どもたちが楽しく取り組めてとてもすばらしいと思いましたが、自分達が子どものときはビオトープではなく、池、河原、畑等で観察していたので、ビオトープのことがとてもよく分かりました。
- 各学校のビオトープの違いや、子どもたちと生きもののかかわり方など分かりやすくよかったです。梶ヶ谷小は思ったより多くの生きものが観察できることが分かりました。生き物が身近に感じられなくなった現代の子どもにとって学校にビオトープを作ることはすばらしい教育だと思います。環境について考えるよいきっかけになるとと思います。
- 岸先生の講評にもありましたが、子どもたちが体験して学びへの興味を持ち、それを発表するという一連の学習はすばらしいと思う。他校との交流という点も貴重だと思う。

### 【第2部 講演：ゲリラ豪雨から身を守る流域思考】

- 高津区は川崎市の崖の30%以上を占める。崩壊危険地域も多く、土砂災害危険地域も多い。大変参考になりました。町内会掲示や回覧すべきだった。地形地図は大変参考になります。町会に掲示します。
- 小学5年の理科で「流れる水のはたらき」という学習があります。「しん食・運ぱん・たい積」と災害を防ぐための堤防やため池について学んできたので、「流域」という知識も凸凹マップを使って伝えてみたいと思いました。
- 広く伝えることを希望します。
- 新しい知識が得られました。ありがとうございました。
- 流域の考え方が、水災害を減らす考え方の1つとして自由に、身近なこととして考えることが出来るという視点が面白く活用しやすいのではと思った。学校を一つの流域の一つに考える。場所として利用と子供たちの教育と同時に進めることができ、成功したら全国に広がると思う。
- 山を管理する意味が流域と水害の話聞くことで、今までより深く理解できました。
- 問題の難しさを痛感しました。
- むつかしいがきてよかったです。
- 回を重ねるごとに深まった。